

15年度岡山県オリエンテーリング協会大会運営研修会(計セン,Mulka2編)

日時:7月11日(土) 9:10 ~ 12日(日) 16:30

場所:笠岡市白石島 笠岡市B&G海洋センター

2015.7.11

項目	時間	備考 (関連資料)
1. 初めに 初心者に配慮したイベントであるとともに、経験者にも満足してもらえる大会を志向し、ホスピタリティある愛好者を育て、かつ会員の資質向上を図りスムーズな世代交代を促進する。	9:10~9:15	
2. EMITシステム (1) 概要 (2) 留意点	9:15~9:40	EMITの仕組み、MTRマニュアル、MTR4-ETR3-USBドライバソフト
3. Mulka2 (1) 概要 (2) 事前準備 (3) 当日作業手順 (4) 留意点 (昼食)	9:40~12:00 12:00~12:40	EMITlec1,2,3、Mulka2マニュアル 事前申し込みリスト、startlist、.coursesV8、E-Card動作確認等 計セン準備手順チェックリスト パソコン留意事項
4. Mulka2実習 (1) startlistの作成 (2) イベントデータの作成 (3) EMIT接続と読み取り (4) 速報印刷	12:40~17:00	ネットワークの構築、トラブル対応(NO ACTIVATE、未登録カードetc)
5. その他 (1) p touch editorを使用してのネームラベル作成 (2) KOKUYOテンプレートカタログを使用しての賞状作成 (3) LapCombat2、Lap解析とLap CenterへのUPロードと県協会webサイト(HTML形式)への掲載 (4) 出走リスト、成績表の作成	15:00~16:30	2日目のみ P-TouchEditorドライバ KOKUYOテンプレートカタログドライバ

2日目は復習を交えての実習で大会のMulka2のデータ準備と計セン処理のマスターを目標にします。
(トラブル対応の実践処理を含めて)

2日目のみの人は上記に準じた内容。1日目の夜も実習の補習を行う予定です。

留意事項

1. 全般

- ・ミスは必ずある。何事も間違っているかもしれない視点で多面的なクロスチェックが肝要(思い込みの絶対排除)。また、間違わないやり方の励行(コピー&ペーストなど)。
- ・この場合でも都度の確認と仕上げの確認が必要。まとめたの確認のみではミスが見つかり難い。
- ・関連データ(事前申込者リスト、出走リスト、startlist、成績表等)の字体、姓名のスペースは統一しておくこと。単にコピー&ペーストでは元の字体がペーストされる。セルをダブルクリック後コピー&ペーストする。
- ・パソコン(ソフト)は使ってみるのが一番、習うより慣れよで、最少からうまい(習熟した)人はいない。

2. EMITシステム

- ・E-Cardのユニット最大記録数は48である。(スタートユニット+リーディングユニットを含め50)
- ・E-Card、ユニットが正常であることを必ず確認。
- ・ユニット(特にスタートユニット)とE-Cardは同梱しない。(同梱時は新聞紙などで何重にも遮蔽し5cm以上離す)
- ・県協会所有コントロールユニットのコードは121~160であり、ピン穴はセンター軸より下側。
- ・バックアップラベルは4隅を確実にめ込んだ後中心軸部をはめ込むこと。白色ラベルは外れやすいようである。

3. Mulka2

- ・アクシデントへの対応力を養っておくこと(マニュアル熟読とMulka2画面で種々いじくってみる)。
- ・E-Card読み取り不能、番号違い、スタート時刻間違い、ペナがおかしい、ユニットが作動しないetc
- ・パソコンの電源はディスプレイOFFとかスリープ設定をしないようにしておくこと 電源オプション。
- ・startlist.csvでしか読み込まないので名前変更、excel(拡張子xls、xlsx)はダメ フォルダオプション。OCADからエクスポートしたコースデータ(13course.coursesV8など)も名前変更はダメ。
- ・したがってイベントごとに関係資料を入れるフォルダは必ず分けておくこと。(ツリー状のファイリングシステムに)
- ・startlist、出走リスト作成は必ず「コピー&ペースト」で行い、転記ミスがないようにすること。
- ・バックアップラベル貼付のネームラベルデータ作成はp touch editorを使用しstartlistに接続展開する。
- ・コピーする元データは作業後決して上書き保存しないこと(データが変更されているかもしれない)。

基準は事前申し込みリスト、E-Card&コントロールユニット番号リストおよびOCADcoursesV8データ